



自己決定する習慣づくり

新緑と多彩な花のコントラストが鮮やかな季節を迎えています。自然の躍動が中学生の行動にも連動し、積極的な変化をもたらしているようにも感じます。新年度がスタートして一ヶ月余。お子さんの小さな変化や新しい変化は、保護者の皆様の目にもとまっているでしょうか。

今年のGWは2年ぶりに行動規制のないものでした。4月当初の緊張を解き、疲れを癒すには貴重な休日だったと思います。また、家族や友達など人とのつながりを感じたり、好きなことに没頭したりすることにも寄与したかもしれません。一方で、連休中にやりたいことを自分で考え、判断・決定し、生活していたかについても振り返ってもらえたらと思います。

先のPTA総会の折にもお話しさせていただきましたが、本校の教育活動における最上位の目標は「自分で考え、判断・決定できる生徒」の育成です。学校生活において何をどのように決めるのか、その内容と質が生徒の成長に直結してきます。たとえば、4月の新入生歓迎会では、目標に合う内容と一人一人の役割を話し合いで決め、実施に至るまでに必要な準備や練習を洗い出して計画を立てるなど、生徒は自分たちの考えを前面に出す努力をしました。生徒会の専門委員会や部活動においても、「指示されてやる」のではなく、目標の達成に向けて「自分たちで考えてやる」というスタンスは同様です。勿論、理想とする「生徒が主語の学校」は、授業に最も反映されるべきだと考えます。「学ばされる」授業から生徒が「学ぶ」授業へ。深い学びに結びつく課題を生徒が持てるようにするための大仁中職員の研鑽は尽きません。学習方法についても、示されたやり方でただ取り組めばよいというものではなく、どういうやり方をするのが自分にとって最適なのか、生徒が見出せるよう支援していくことが必要です。学校は社会の縮図とも言える場ですから、学校生活のあり方や自分のあり方を問い、考え、最適解を決めていくことは、社会生活を営む上での大事な学びとなっていきます。

自分で決めるということは、行動に責任を持つということでもあります。自己決定と責任は表裏一体で、他人に言われてやることに比べ、自分で決めたことは多少の困難があってもあきらめずに頑張ろうとします。自己決定する習慣づくり——。共に目指していきたいと思います。

＜文責：校長＞



☆フレーザータイプの制服が仲間入り！

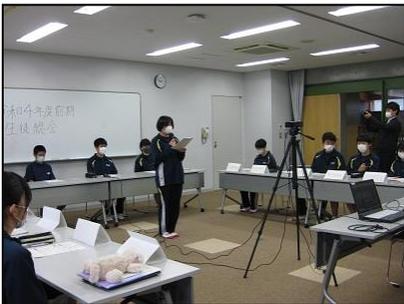
今年度より「男女問わず誰でも着ることができる制服」として、フレーザー&スラックスタイルの制服を導入しました。現在、男女含めて十数名が着用しています。

実際に新しい制服を着用している生徒たちは、「着心地も良く、動きやすい」「上着を脱ぎ着することで温度調節ができて良い」等、その良さを感じているようです。また、周囲の生徒も、「すっきりしていてカッコいい」「それぞれに合ったものを着ていていいと思う」と、思っていた以上に自然に受け止めているようです。



☆「生徒総会」～よりよい大仁中にしていくために～

生徒会活動目標「持続可能な学校づくり」と「大中学生の六本柱」を踏まえ、これから各委員会では、あいさつ運動や黙働清掃、感染症対策等、さまざまな取組を行っていきます。



各教室をつないでオンラインにて開催。



生徒たちは画面越しに話し合いに参加しました。

- 「大中学生の六本柱」
- ①身なりを正しくしよう
 - ②礼儀正しいあいさつをしよう
 - ③時間を守ろう
 - ④まごころをこめて清掃しよう
 - ⑤意見をもち発表しよう
 - ⑥思いやりをもとう

☆修学旅行に行ってきました ～3年生～

2年ぶりに修学旅行を実施することができました。生徒たちは、仲間との3日間を思い切り楽しんだようです。後日、HPにも活動の様子を掲載しますのでぜひご覧ください。保護者の皆様には、感染症対策等へのご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。



☆部活動 がんばっています！

1年生が加わり、どの部も活気にあふれています。夏の大会に向けてがんばります。

【女子ソフトテニス部】

春季少年少女ソフトテニス大会 田方地区大会 優勝 山口・内田ペア
準優勝 加藤・宮崎ペア

【サッカー 部】 静岡県中学校サッカー選手権大会 伊豆地区予選 第4位

【女子バレー部】 伊豆市協会長杯 優勝

【男子卓球 部】 伊豆の国市卓球大会 春季中学団体の部 第3位